

下の表は10人の生徒の10点満点の小テストの結果であり、B、Hの2人は欠席したため、下の表では空欄になっている。この2人には翌日に同じ小テストを行ったところ、10人の得点の平均値は6点であった。このとき、欠席した2人の得点の平均値は **ア** 点である。また、BはHよりも得点が低く、Bと同じ得点の人数が最も多かった。このとき、10人の得点の中央値は **イ** 点である。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
得点(点)	5		7	5	3	7	10		3	4

[国立高専]

平均6点の10人の合計は

$$6 \times 10 = 60 \text{点}$$

B、Hの2人を除いて8人の合計は

$$5 + 7 + 5 + 3 + 7 + 10 + 3 + 4 = 44 \text{ (点)}$$

よって B、H 2人の合計は $60 - 44 = 16 \text{ (点)}$

(7人が2人の平均は $16 \div 2 = 8 \text{ (点)}$... 了)

B、H 2人の得点の合計が16点で

Bの得点が最も多いため、Bの得点は5, 7, 3の

いずれか。このうち $B=7$ で $H=9$ のときは

成り立たない

この2人の得点と他の8人の得点を並べると 5番目、6番目はそれぞれ5点と7点となるので中央値は

3, 3, 4, 5, 5, 7

$$\downarrow$$

$$(5+7) \div 2 = 6 \text{ (点)} \dots \text{イ}$$